

令和8～10年度富士市子どもの学習支援事業業務委託 企画提案書等に関する質問への回答

No.	質問項目	質問内容	回答内容
1	仕様書 P1	4 支援対象者について、 生活困窮世帯、または市が支援の必要性を認めた者とあります。過去の事例でどのような方が対象となりましたか。	支援対象者は仕様書4（1）に提示した生活困窮世帯が原則である。 しかし、新規保護世帯となった家庭や、他課からの情報提供で発覚した家庭が、様々な問題から週1回程度でも家庭から離れた生活をした方がよいとケース会議で判断され、年度途中から支援対象者として学習支援に参加した過去の事例がある。 過去の事例では会場の参加人数及び定員を踏まえて途中参加者の会場を調整したため、学習支援員の増員の必要はなかった。
2	仕様書 P2	学習支援員（受託者）とご家庭との連絡方法について、これまでどのような方法で実施してきましたでしょうか。	個々の学習支援員と家庭間のやり取りはなく、受託者の代表1名と家庭間でやり取りを行う。連絡方法は、お互いの携帯電話の番号を共有した上での電話連絡、またはSMSを利用した連絡を実施している。
3	仕様書 P2	夏期集中講座、冬期集中講座の実施について、会場は、市で指定されている会場以外でも実施は可能でしょうか。	受託者の提案する企画において、市及び受託者間で協議を行い、夏期集中講座及び冬期集中講座をより効果的に行うことができると認められる場合は、指定会場以外を利用することは可能である。 ただし、市内公共施設であれば施設利用費用の負担が発生しないことを踏まえ、会場の費用負担が発生する場合は受託者が負担するものとする。

4	仕様書 P2	<p>夏期集中講座・冬期集中講座について、学習の要素を取り入れたレクリエーション活動とは、これまでどのような活動を行っておいりましたでしょうか。</p>	<p>学習の要素を取り入れたレクリエーションは、参加者の気分転換や参加者同士の交流を目的として行っており、チームを作って相談しながら、楽しんで解ける問題を使用している。</p> <p>具体的には、丸火自然公園内でのウォークラリーのチェックポイントに時事問題や化学反応式を用意して係数などの数字を答えさせる問題や、質量の単位であるグラム（g）と体積の単位であるミリリットル(ml)を水を使って関連付けて水の重さを答えさせる問題など、試験問題を解くのととは違う形での学習を体験している。</p>
5	仕様書 P2	<p>送迎について、過去3年間で対象者がおいりましたでしょうか。</p> <p>対象者がいた場合に人数を教えてください。</p> <p>帰りは、保護者のお迎えはありましたでしょうか。</p> <p>安全面の考慮や、普通自動車免許第二種取得者による送迎が必要なども教えてください。</p> <p>また、公共交通機関（タクシー等）の利用をしてもよろしいでしょうか。</p>	<p>学習支援参加者で送迎利用者は過去3年間で以下の通りであった。</p> <p>令和7年度：19人（うち中学3年生18人）</p> <p>令和6年度：19人（うち中学3年生12人）</p> <p>令和5年度：8人（うち中学3年生8人）</p> <p>実際に参加者でどれだけの人数が送迎を利用するかは各年度の参加者による。</p> <p>また、概ね送迎利用者は帰りも利用することが多いが、日によって保護者の迎えなども事前に連絡があれば柔軟に対応している。</p> <p>送迎については仕様書10（4）及び14（6）イのとおりであり、二種免許は必須ではない。また、タクシー等の公共交通機関を利用することは妨げないが、費用は受託者が負担すること。</p>

6	仕様書 P2	6（5）オンラインによる学習指導について、 市の教育委員会が配布しているタブレット端末にインストールされている通信アプリを教えてください。	通信アプリは「Microsoft Teams」である。市の教育委員会が配布しているタブレット端末にそれ以外の通信アプリはなく、また、追加で通信アプリの導入をすることはできない。
7		過去3年の各会場における学習支援員の人員配置について、具体的な会場名と配置人数を教えてください。	学習支援員の配置人数はその日の学習支援参加人数によって変わるため、過去3年の各会場における学習支援員の人員配置の具体的な数字を回答することはできない。 過去3年の各会場における学習支援員の最大配置人数は回答できるが別表のとおりである。
8		過去3年の参加人数（登録人数）の実績について、参加していたお子さんの学年と人数を会場別に教えてください。	別表のとおりである。
9		各会場の設備・備品について、 ホワイトボード、ホワイトボードマーカー、Wi-Fi等の設備及びその他備品等はどのようなものが設置されておりますでしょうか。	各会場にホワイトボードは常設されているが、ホワイトボードマーカーは常設ではないため施設職員より貸与される必要がある。 また、各会場に無線設備はないが、隣接する部屋に設備があり、これを利用することは可能。ただし、フリーWifiではないため、利用するためには各会場管理者に利用申請をする必要がある。
10		過去3年の年間実施回数は、何回実施されていますでしょうか。 また、夏期、年末・年始の休暇等がありますでしょうか。	別表のとおりである。 仕様書7（1）のとおり学習支援事業は土日祝休日は行われない。また年末年始等の会場の開館都合により行われない日もある。

11	仕様書 P2	夏期集中講座、冬期集中講座について、 R7年度の学習指導とレクリエーションの実施時間の実績 をご教示ください。	以下のとおりである。 ＜夏期集中講座＞ 学習指導：10:15-12:15（2時間） レクリエーション：13:30-15:20（1時間50分） ＜冬期集中講座＞ 学習指導：9:40-11:40（2時間） レクリエーション：13:10-14:20（1時間10分）
12	仕様書 P5 10事業の実施体 制（2）イ	「また市から、会場、会場参加者の様子の確認及び学習指導を目的として学習支援員1名を学習支援会場に派遣するため、それを踏まえ必要な学習支援員を拠点及びサテライトに配置すること」とありますが、市からの学習支援員様は週どのくらいの頻度でご支援に入られますでしょうか。	週2回程度の頻度を想定している。実際には参加者の人数及び特性に応じて柔軟に対応する想定である。

別表

R5	会場名						
	岩松	田子浦	鷹岡	青葉台	吉永	教育プラザ	WORX富士
支援員（最大配置）	3	4	3	2	2	5	2
登録人数	3	5	3	3	2	8	8
学年	中学3年生 高校1年生	中学3年生 高校1年生	中学3年生 高校1年生	中学3年生 高校1年生	中学3年生 高校1年生	中学3年生	中学1年生 中学2年生
実施回数	44	46	25	28	37	175	41

R6	会場名					
	岩松	田子浦	吉原	広見	吉永	教育プラザ
支援員（最大配置）	7	4	5	4	4	4
登録人数	11	9	12	9	7	13
学年	中学3年生 高校1年生	中学2年生 中学3年生 高校1年生	中学1年生 中学2年生	中学3年生 高校1年生	中学1年生 中学2年生 中学3年生	中学3年生
実施回数	41	48	45	46	42	217

R7	会場名					
	富士北	広見	富士南	吉永	岩松	教育プラザ
支援員（最大配置）	6	4	3	3	4	5
登録人数	12	11	7	7	11	10
学年	中学1年生 中学2年生	中学3年生 高校1年生	中学1年生 中学3年生 高校1年生	中学3年生	中学3年生 高校1年生	中学3年生
実施回数	27	33	34	34	34	169